

バイオマス・ニッポン総合戦略における目標達成状況

参考資料 2

	目 標	平成18年度	平成19年度	平成20年度	今 後
バイオ燃料の利 用促進	<p>【平成23年】 単年度5万KLの国産バ イオ燃料生産</p> <p>【平成42年頃】 単年度600万KLの国産 バイオ燃料生産(農林水 産省試算値)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオエタノール 30KL ・バイオディーゼル燃料 5,000KL <p>・「国産バイオ燃料の大 幅な生産拡大に向けた 工程表」を総理報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオエタノール 90KL ・バイオディーゼル燃料 5,000KL <p>・「バイオ燃料地域利用 モデル実証事業」開始 バイオエタノール 3地区 バイオディーゼル燃料 13地区</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオエタノール 200KL ・バイオディーゼル燃料 10,000KL <p>・「ソフトセルロース利活 用技術確立事業」開始 バイオエタノール 3地区 ・「農林漁業バイオ燃料 法」の成立 ・バイオ燃料関連税制の 創設</p>	<p>【平成21年】 大規模実証事業による 国産バイオ燃料生産が 本格化。</p> <p>事業による平成23年の バイオ燃料生産見込量 バイオエタノール 3.1万KL バイオディーゼル燃料 1万KL</p> <p>残り1万KLの生産量 で目標達成</p>
バイオマスタウン 構築の加速化	<p>【平成22年】 バイオマスタウン構想を 全国300地区程度で策 定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度末 90地区 ・バイオマスタウンアド バイザーの育成 32名 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度末 136地区 ・バイオマスタウンアド バイザーの育成 64名 <p>・バイオマスタウン構想 策定の手引きを作成し、 全国に配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度末 196地区(197市町村) ・バイオマスタウンアド バイザーの育成 100名 <p>・「全国バイオマスタウン サミット」の開催 ・「バイオマスタウン加速 化戦略」の策定</p>	<p>【平成21年】 4月末現在208地区 (209市町村) 【平成22年】 バイオマスタウン構想を 全国300地区程度で策 定を目指す</p> <p>残り2年間で目標を達 成するために、更なる 加速化が必要 構想の実現が図ら れるよう支援する必要</p>
アジア等海外との 連携	<p>日本におけるバイオマス 利活用の成果の海外へ の普及等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスアジアワー クショップ開催(日本) 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスアジアワー クショップ開催(マレーシ ア) ・「バイオ燃料政策に関 する国際シンポジウム」 の開催(タイ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスアジアワー クショップ開催(中国) ・「東アジアにおけるバイ オマスタウン構想普及支 援事業」開始(実施地区 をタイ、ベトナムに決定) 	<p>【平成22年】 タイ、ベトナムにおけるモ デル地域において現地 研修や人的ネットワーク 構築の実施によりバイオ マスタウン構想策定</p>

バイオマスタウン構想を公表した209市町村 (平成21年4月末現在)

